

くすりのしおり

外用剤

2020 年 12 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名:モメタゾンフランカルボン酸エステル軟膏 0.1%「イワキ」
主成分:モメタゾンフランカルボン酸エステル(Mometasone furoate)
剤形:白色～微黄色、半透明の軟膏剤、(チューブ) 淡青色に濃黄緑色（一部黒）の帯、(キャップ) 薄紫色
シート記載:



この薬の作用と効果について

ステロイドの作用（抗炎症作用、免疫抑制作用など）により皮膚の炎症症状を緩和（湿疹やかゆみをやわらげる）します。

通常、湿疹・皮膚炎群、乾癬、薬疹・中毒疹、虫さされ、痒疹群などの皮膚炎の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。患部が外耳道炎の湿疹、潰瘍や熱傷・凍傷、細菌や真菌およびウイルス皮膚感染症や動物性（疥癬、けじらみなど）皮膚疾患がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は((:医療担当者記入))
- ・通常、1回適量を1日1～数回患部に塗ります。症状により適宜増減されます。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・目の中に入らないように注意してください。もし誤って目に入ったら水で洗い流してください。それでもおかしい感じがあれば、眼科医の診察を受けてください。
- ・塗り忘れた場合は、気がついた時に1回分を塗ってください。ただし、次に使用する時間が近いときは、1回とばしてください。
- ・誤って多く塗った場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で使うのを止めないでください。

生活上の注意

- ・小児などで長期使用や密封法（ODT）は発育障害を来すおそれがあるので、注意してください。
- ・患部にオムツがあたる場合、オムツは密封法（ODT）と同様の作用があります。担当の医師や薬剤師に確認してください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、皮膚の真菌・細菌・ウイルス感染症、乾燥、皮膚の刺激感、紅斑などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・まぶしい、かすむ、よく見えない、目の疲れや痛み、頭痛、吐き気〔眼圧亢進、緑内障、後のう白内障〕

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。